



# Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2020年4月 vol.9

今年は感染症の流行で積極的な外出を控えた分、いつもより本をゆっくり読むことができています。

以前読んだ本でも再度読み返すと1度目と違った深い意味が感じられるようになり、2度楽しめました。Oasis meets Booksを読んでいただき、皆様にとってお好みの本とめぐり合うお手伝いできれば幸いです。  
(委員長:前田 吉紀)

## 鬼滅の刃 / 吾峠呼世晴

デイサービス オアシスキズリ / 介護士 出来 希望

2016年11号より週刊少年ジャンプにて連載中。大正時代を舞台に、主人公が、家族を殺した「鬼」と呼ばれる敵や、鬼と化した妹を人間に戻す方法を探すために戦う姿を描く和風剣戟奇譚漫画です。



【オリコン年間コミックランキング 2019】では期間内の売上げが1205.8万部を記録し、第1位となった大人気漫画です。

また2019年4月から9月までテレビアニメ化もされ、主題歌を歌うLISAは昨年の紅白歌合戦にも出場されました。今年はなんと、劇場版として映画化もされるそうです。

私も元々漫画は好きでしたが、今回は娘の影響で読んでみたら世界観に引き込まれ、ハマってしまいました。現在、本屋でも売り切れが多いですが、皆さんも機会があれば是非読んでみてください。

・次回⇒ デイサービス オアシスキズリ / 介護士 森田 憲治



## 介護予防運動指導員 養成講座テキスト / 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

老健 オアシス デイケア・ショート / 柔道整復師 岩谷 篤

繰り返し、繰り返し読む事で、少しでもご利用者様に運動の楽しさを実感してもらいたいと、帰宅後に読み、仕事で実践している本が「介護予防運動指導員テキスト」です。



その中の「転倒予防の章・尿失禁の章」なのですが、読めば読むほど「今まで自分がしてきた対応で良いのだろうか?」「ちゃんと理解して運動をしてもらっているのだろうか?」と疑問が付きまといまいます。

運動をしていただけではどの筋肉を使っているのかわかってもらえないので、ゆっくりとした運動をしながら呼吸も同時にしてもらい、どの筋肉を鍛えているのかわかっていたようにしています。

そうしていくことによって、ご利用者様が弱っている筋肉自体が分かり、私達(セラピスト)に伝えられるようになれば、この職種を選んだ最高の喜びだと考えています。

この本はこの講習を受講しなければ読む事はできませんが、活用できる本だと思っています。

・次回⇒ 老健 オアシス デイケア・ショート / 介護士 植田 恵子



## 犬と私の10の約束 / 川口 春

特養 オアシス寿安 生活支援課 / 管理栄養士 福間 朋実

主人公のあかりは小学生の頃、家の庭に迷い込んできたゴールデンレトリバーの子犬を飼うことになり「ソックス」と名付けます。そのソックスとの10年間の物語を書いた本です。物語には犬との出会い、別れ、そして再会と、主人公と犬の成長過程でのすれ違い等が書かれています。



あかりの母は「犬を飼う時には10個の約束をしなければならない」と言います。それが「犬と私の10の約束」です。その約束はどれも犬から人に宛てたメッセージであり、決して人間のようには喋れないからこそその願いが記されています。

犬も人と同じ「心」があることを教えてください。私にも今年15歳になる愛犬がいます。犬を飼う時に母からもらった本がこの本でした。主人公との境遇が似ているということもあり、読むたびに涙が止まりません。

犬を飼っている方もそうでない方にも、命の尊さ、そして大切さを教えてください。素敵な作品です。ぜひ一読ください。

・次回⇒ 特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 吉岡 和真



## 雑談がおもしろい人、つまらない人 / 渡辺 龍太

グループホーム オアシス平野 / 介護士 宮川 彰子

書店をウロウロしていると一冊の本が目にとまりました。表紙には「雑談がおもしろい人、つまらない人」「口下手・人見知りでもOK!」「距離も縮まるインプロ(即興)会話術」。イラストもインパクトがあり、少し内容を見ていると面白そうなので購入しました。



雑談の面白さは、話の内容でも頭の回転でも口の上さでもなく、相手と無理なく会話ができるかどうかで決まると書かれていました。雑談して面白くない人は!!、つまらない人は!!の例文も書かれていて、私自身とても参考になりました。

この著者は放送作家をする傍ら「インプロ」というアドリブトーク術の専門家として活動されているようです。この本で紹介される雑談術をマスターすれば、単に雑談に困らなくなるだけではなく、相手との距離が縮まり人間関係も変わっていくとも書かれていました。

私自身、メールやラインなど文字での会話が増えていますが、この本を参考にこれからは少しでも多くの人たちとの会話を楽しんでいきたいと思いました。オアシス文庫に是非置いていただきたい一冊です。

・次回⇒ グループホーム オアシス平野 / 介護士 平川 花子



## ただの私(あたし) / オノ・ヨーコ

介護支援センター オアシス 地下鉄平野駅前 / ケアマネジャー 水野 伸一

今世紀に入り、ヨーコ・オノに対する芸術家としての再評価の動きが著しい。ドイツのある地方公共団体は街のイメージ作りを彼女に依頼した。「ドラゴンレディ」「日本の恥」とまで言われた彼女にようやく時代が追いついたのか。



1995年11月、私は衝撃の体験をしました。彼女に怒られたのです。

平清盛が建立してから1400年を記念した巖島神社でのコンサート「ヨーコ・オノ 今」。開場とともに走った私。途中で、お勤め後の神主さん2人とすれ違い、3人目にすれ違ったその人はまさしく彼女。サインでもせがまれると思った彼女は肩越しに「今はダメ」と立ち去りました。今まで映像でしか知らなかった彼女の思想や自分に対する厳しさを刻んだ表情に感激を覚えました。本当に彼女には魅了されますが、ヨーコ・オノから小野洋子になった時の日本語が好きです。

穢れの無い彼女の日本語は美しい。いつまでも現役で！  
(PS.上皇明仁様の初恋の相手が学習院大学同級のヨーコ・オノでした。)



・次回⇒ヘルパーステーション オアシス / サービス提供責任者 大野 美穂

## 夢をかなえるゾウ2 ガネーシャと貧乏神 / 水野 敬也

デイサービス オアシス長瀬 / 看護師 杉本 みどり

こんなに魅力的なキャラクターはいない！関西弁を使いこなすガネーシャに惚れました！良いことを言うだけではなく、笑わせるのがうますぎるただの小説家と気楽に読み始めたが、ガネーシャの鋭い指摘は主人公のみならず私にも響きました。



変わりたいという気持ちは重すぎるほどあるのに、でも、できない理由は1つ。思いついただけで行動しない自分。自己啓発本は何冊も読んでいるが、なんで変わらないのか？【夢をかなえるゾウ】を読んでわかりました。私は行動していない。大好きな人が言う事なら素直に実行できるはず。ガネーシャの魅力がたまらない。それは神様がから上から目線やろうけど上からすぎる(笑)

『幸ちゃん宗ちゃんは自分が育てた』と。(松下幸之助・本田宗一郎)  
偉人のエピソードが笑いながら親しみを持って読めます。大体、偉人のエピソードは真面目に威厳を損なわないよう書かれていて、読むこちらは「はあー、やっぱ偉いな。私には無理！次元が違う」と思ってしまおう。でも、この本は「偉人も普通の人。あんたらより努力を続けただけ、諦めなかっただけ」と教えてくれます。

・次回⇒管理本部 総務部 / 深田 剣太

## めぞん一刻 / 高橋留美子

老健 オアシス 入所看護 / 看護師 田上 浩二

舞台は時計坂にある「一刻館」という古びたアパート。そこに住む主人公・五代裕作と新しく管理人となるヒロイン音無響子との淡い恋愛模様が描かれた作品です。



強敵過ぎる恋のライバルで同じ響子に好意を抱く、資産家の御曹司でパーフェクトな容姿を持つ三鷹瞬。それ以上に強敵なのが響子の亡き夫惣一郎。

結婚してわずか半年足らずで未亡人になってしまった響子。姓である「音無」も結婚後の苗字で、惣一郎への想いが断ち切れていないのが解ります。果たして五代はこの強敵を相手に、この恋物語にどう終止符を打つのでしょうか。

今から30年以上も経っていますが昔、学生時代に読んだ作品でとても感動しました。今のラブコメより勝っている作品だと思います。

是非、一度読んでいただければと思います。



・次回⇒老健 オアシス 支援相談課 / 課長 後藤 茂

## オアシス文庫 recommend



若年性アルツハイマーの母と生きる / 岩佐 まり

きっかけはある日から続く強烈な頭痛でした。この本は、当時55歳の女性が若年性アルツハイマーと診断され、その娘がひとり仕事をしながら母の介護をする奮闘記です。

最初は小さな物忘れだったが徐々にその物忘れが大きくなり、できないことも増え、日常生活に支障をきたしてしまいます。

「若年性アルツハイマー」という診断がショックでお互いになかなか受け入れることができない中、母親の症状はどんどん進行。病氣と向き合う決心をした「まりさん」は、シングル介護生活をスタートさせました。

母の進行を少しでも遅らせたい、笑顔を取り戻してもらいたいという強い想いから、病氣について勉強したり、スールや社交ダンスの習い事を始めてみたり、母が不穏になったときは「なぜ不穏になるのか」から対処法を謎解きのように考えてみたり、と試行錯誤の毎日は現在も続いています。

当時20歳という若さで介護をすることになり、計り知れない葛藤や辛さがあったと思うのに「おしつけられた介護」ではなく、母親の為に勉強を重ね様々な工夫をされている「まりさん」が本当にすごいと思いました。

「心の中が表情になって表れる」心が大切であることを教えてくれた一冊です。(教育委員会：平井真由)

老健入り口の書棚「オアシス文庫」から貸し出せます▶



## 編集後記

本企画(0mB)は皆様のご協力のお蔭をもちまして3年目に入ります。1・4・7・10月、広報誌アズールと一緒にスタッフおひとりに一枚、お届けしています。

「会ったことのない」「話したことのない」同じオアシスのスタッフが、お気に入りの一冊を紹介してくれています。

「何度か話している」「何度も話している」同じロッカーームのスタッフが、意外な一面を見せてくれています。ペラペラの一枚。どこかに埋もれ忘れてしまわないで、ほんの10分、皆さんの声を聴いてみてください(^^) 今後とも“Oasis Meets Books”をよろしく願いいたします。



(教育委員会：中島美和子)